

類別：歯科材料（09） 歯科用研削材料

一般的名称：一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー JMDNコード：16670000

**販売名：コンタクトカットダイヤモンドバー****【警告】**

- (1) 切削・研磨は過度の圧力がかからないようにソフトタッチで断続的に被切削物に押し当てて行うこと。  
(〈細細製品であるため、過度な力がかかると破折することがある。〉)
- (2) バキュームを近接させて使用すること。  
(破折により生じた破片の誤飲を防止するため。)

**【禁忌・禁止】**

ニッケル、クロム又は本品に使用されている金属に対して発疹皮膚炎等の過敏症の既往歴のある医療従事者および患者には使用しないこと。

**【形状・構造及び原理】**

コンタクトカットダイヤモンドバー

軸の形状：ISO 1797-1 Type 3 (FG用)

材質：ステンレス鋼、ダイヤモンド砥粒、ニッケル

\*最大回転数(rpm)

作業部径(mm)	最大回転数(rpm)	先端図(代表例)
0.3-0.65	450,000	

【梱包】

単品/3本

**【使用目的又は効果】**

・コンタクトカットダイヤモンドバー

微細なダイヤモンド結晶で砥着されたスチール製の作業部を持ち、歯科用ハンドピースに装着し、歯牙、骨等の硬組織の切削に用いる。

**\*【使用方法等】**

- 使用前に滅菌すること。
- 歯科用ハンドピースに装着し、回転させて対象物を切削又は研磨する。  
・「使用方法に関連する使用上の注意」
- 接続するハンドピース等の説明書等に従い、軸を確実に奥まで挿入し、チャックあるいはラッチが確実に閉じていることを確認すること。
- 軸が挿入しにくい場合は、無理に押し込まず、ハンドピースとバーを再点検すること。
- 予め患者の口腔外で回転させ、振れがないことを確認すること。
- 上記の最大回転数を超過して使用しないこと。
- 研削・研磨は過度の圧力がかからないようにソフトタッチで断続的に被研削物に押し当てて行うこと。
- バキュームを近接させて使用すること。

- 破損や過剰な発熱の原因となるため、無理な角度、過度な加圧使用は避けること。
- 発熱により歯牙に損傷を与える可能性があるため、十分な冷気で使用すること。

**【使用上の注意】**

- 使用前に滅菌すること。
- 使用前に必ず製品の点検をすること。
- 破損、摩耗、腐食、変形、脱落、その他損傷や劣化が確認された場合は使用しないこと。
- 安全のため、保護手袋、保護メガネ、マスク等を着用すること。
- 【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- 歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- 使用後はできるだけ早く血液、体液、組織等を除去し、洗浄、消毒、滅菌を行うこと。
- 本品をEDTA溶液、次亜塩素酸ナトリウム等の腐食性溶液に長時間浸漬した場合、腐食等の恐れがあるので注意すること。
- 廃棄の際は感染防止に留意し、関係法令及び各自治体の指導に従った安全な方法で適切に処理すること。

**【保管方法及び有効期間等】**

- 高温、低温、多湿、直射日光、水分(水濡れ)、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、加圧(物理的負荷)及び汚染を受けない清潔な場所に保管すること。

**【保守・点検に係る事項】**

- 使用后洗浄/消毒する際、感染防止のためのゴム手袋、保護マスクなどを着用すること。
- 機器に付着した血液、体液、組織等は、乾燥・固化する前に流水による洗浄、洗浄液等への浸漬等により確実に除去すること
- 洗浄剤/消毒剤を使用する際は、防錆性の洗浄剤/消毒剤を使用する洗浄剤/消毒剤の取扱説明書の記載内容に従って洗浄/消毒すること。
- 超音波洗浄する場合は、バーホルダーに入れ、5分洗浄すること。
- 洗浄/消毒後は精製水で十分にすすぎ、乾燥させること。
- 滅菌は高圧蒸気滅菌をすること。詳細は高圧蒸気滅菌装置の取扱説明書に従うこと。 例:135℃30分